

機密性の評価

このガイドラインの対象は本学の教育・研究、大学業務に関わる電子データであり、各所属員個人に属するデータは対象としない

機密性	概要	具体的な内容
機密性1	公開・改ざんされても大きな影響がないもの	<ul style="list-style-type: none"> ・打ち合わせやスケジュール調整等の情報（個人が特定されるような情報を含まない物） ・その他個人が特定されるような情報が含まれない、雑多な情報
機密性2	公開を前提とするが改ざんされると影響が大きいもの	<ul style="list-style-type: none"> ・広報用Webページでの公開している情報 ・広報用のSNS等に掲載する公開している情報 ・公開を前提とした教育・研究に関する情報（教員業績DB、シラバス、オープンコースウェア、公開用の研究データ・研究成果） ・公開を前提としたライブ配信データ ※データ内の画像・動画・資料等については権利処理（著作権・肖像権）がすべて明確に完了していることが前提となる ・構成員以外の者も利用できるシステムのマニュアル
機密性3	公開を前提としていないもの	<ul style="list-style-type: none"> ・研究室の卒業生の進路情報 ・受託研究等、学外の組織が関わるものの中でも機密性が低い情報 ・研究に関する情報のうち、万が一漏えいしたとしても影響が軽微なもの ・ファイルにエクスポートされたメールデータでのうち重要3、4の内容を含まないもの ・本学、ならびに五島育英会の規程 ・授業や学内のイベントを収録した動画データ ・将来的に公開することを前提とした情報の原稿（作成途中のWebページの原案やシラバスの原稿等） ・学生に提示する教材 ・学生から提出されるレポート ・その他教育・研究の為に用いる情報で、機密性4、5の内容を含まないもの ・学外機関からの依頼を受けて作成した情報で、機密性4、5の内容を含まないもの ・構成員のみが利用できるシステムのマニュアル
機密性4	特定の職制、グループ又は部局等以外に対して機密を保持すべきもの	<ul style="list-style-type: none"> ・住所、氏名、生年月日、メールアドレス、電話番号など一般的な個人情報が集積されたもの 例）本学学生教職員の個人情報、学外者（本学で実施した催し物の参加者等）の個人情報、入学予定者の情報 ・学生指導の過程を記載したデータ ・受託研究等、学外の組織が関わるものの中でも機密性が高い研究に関する情報 例）国の機関が関わる受託研究のデータや、漏洩することで共同研究者に損害を与える可能性のある研究データ ・入試情報・財務情報等、本学の経営の根幹に関わる情報 例）入試にかかる非公開情報、本学の戦略にかかる非公開情報
機密性5	特定の関係者以外に対し厳重に機密を保持すべきもの	<ul style="list-style-type: none"> ・成績原簿に関する情報 例）学生の成績データ ・人事評価等、機密性の高い人事情報 例）人事評価 ・医療に関する情報 ・決済に関する情報 例）クレジットカード番号（ならびにセキュリティコードなど付随する情報）、銀行口座番号等 ・個人に割り当てられた公的なIDに関する情報 例）マイナンバー、パスポート番号、ビザ番号、社会保険番号など